

1034. ヒルベルト / 鮎約定理ニ就テ

稻葉榮次(海兵)

係數体ヲ種々灰ズルコトハ Van der Waerden  
論、代數幾何ノ特色、一ツナル。此ヘラレタ係數体ニ不定  
元ヲイクシカ添加シテ代數的=拡大シ、ソノ後 relations-

-947-

trene Spezialisierung ヲ行フコトハ代数函数  
体ニ就テ常数体擴大ヲ行ツシ候 Restbildung ヲ行フ  
コトニ相當ナル。

サテ「ヒルベルト」ノ既約定理ハ代数幾何ニ於テ或ル  
役割ヲ極大ルガ、ソレハ後日ニ述べルコトニシテ、コソテハ  
コノ定理ノ純代数的証明ニ就テ述べル。

Eichler ハ、ノ特別十場合ニ純代数的証明ヲ與ヘ  
テキルガ (Math. Ann. 116) ノ、Lemma 1 小生  
1本紙第227号ニ述ベタ定理ハ、特別十場合ニ他ナラス。  
コノ証明ハ私、セ Eichler も稍、面倒デアッタが、コ  
ソテハ Eliminationstheorie ヲ用ヒテ簡単に証明ヲ  
述べル。同時に「ヒルベルト」ノ既約定理、Eichler、  
証明ヲエット簡易化シ結果ヲ一般ニシテミル。

(Lemma) 入ガ代数数体或ハ代数函数体ニシテ  
 $f(x, y) = 0$  グ様数体入ニ於ケル絶対既約方程式ナル  
トキ。ノ、Hauptordnung = 於ケル Primideal  
 $\mathfrak{P} = \exists \cup Restbildung = \exists \cup \overline{f(x, y)} = 0$  グ入  
ニ於テ絶対既約トナル。(但シ有限個、アラ除シ)

(証)  $f(x, y) \ni y$ 、多項式ト考ヘタトキ、ノ、最高  
幕、係數ハ  $1 =$  シテ他、係數ハ  $\lambda[x] =$  属人トシテモ一  
般性ヲ失ハス。 $f(x, y)$  1 頃人少次數アリ、係數シ  
テ  $\alpha =$  關スル次數 / 最大ナルモ  $M$  次トス。

サテ  $f(x, y)$  が可約 + ハ、ノ、既約因子ハ  $y$ ; 多項  
式トシテ係數ハ  $\lambda[x] =$  属シ、ノ、 $x =$  關スル次數ハ  $M$  ミリ

大テ+1. 何トナレバ

$$f(x, y) = \varphi(x, y) \psi(x, y)$$

トシ  $\varphi(x, y) \Rightarrow y$ , 多項式トシ  $\psi$ , 係数,  $x$  = 関スル次数最大ナルモハ  $M_1$ , 次テ, カル係数ヲ有スル  $y$ , 最高乗ア  $y^M$ , 同様  $= \psi(x, y)$ ,  $x$  = 関スル最大次数  $M_2$  + ル係数ヲ有スル  $y$ , 最高乗ア  $y^{M_2}$  トスル。

シカラベ  $f(x, y) =$  於ケル  $y^{M_1+M_2}$ , 係数,  $x$  = 関スル次数ハ  $M_1 + M_2$  デアッテ

$$M_1 + M_2 \leq M, \quad \therefore M_1 \leq M, \quad M_2 \leq M$$

デアルカラデアル。

サテ  $u_i, s, v_j, t$  ハスベテ不定元デアルトシテ

$$\Psi(x, y) = h_0(u, x) + h_1(u, x)y + \dots + h_{n-1}(u, x)y^{n-1}$$

$$h_i(u, x) = u_{i, 0} + u_{i, 1}x + \dots + u_{i, M}x^M$$

$$\Phi(x, y) = l_0(v, x) + l_1(v, x)y + \dots + l_{n-1}(v, x)y^{n-1}$$

$$l_j(v, x) = v_{j, 0} + v_{j, 1}x + \dots + v_{j, M}x^M$$

トオク。

$$\Psi(x, y) \cdot \Phi(x, y) = f(x, y)$$

トオケバ  $u, v$  = 関スル代数方程式, system が得ラレル。コレラテ

$$Z_i(u, v) = 0 \quad (i = 1, 2, \dots, n)$$

トオク。

$f(x, y)$  が絶対既約ナルトキハ  $i$  system の解ヲ有ヌ又カラ

$$\sum_{i=1}^k A_i(u, v) Z_i(u, v) = 1 \quad \dots \quad (1)$$

ナル関係が成立。但し  $A_i(u, v)$  は  $u, v$  多項式ア  
ル。且  $\exists$  Primitive ideal  $\mathcal{P}$  で  $Z_i(u, v)$  の係数すべて  
 $\mathcal{P}$ -Ganz なる如ク且  $(1)$  の係数すべて  $\mathcal{P}$ -Ganz な  
ル如ク模ベバ mod.  $\mathcal{P}$  に於テ

$$\sum_{i=1}^k \overline{A_i(u, v)} \overline{Z_i(u, v)} = 1$$

ト+II  $\overline{Z_i(u, v)} = 0$  ( $i = 1, 2, \dots, k$ ) は  $\overline{\Lambda}$   
代数的拡大に於テ解  $\lambda$  有りスコトニナルカラ  $f(\overline{x}, \overline{y})$  は  $\overline{\Lambda}$   
1代数的拡大に於テ既約ジアル。

—— (証終) ——

### [ヒルベルトノ既約定理]

ハハ任意の有限次代数体トシ

$$f_i(x_1, x_2, \dots, x_m; z_1, z_2, \dots, z_r)$$

( $i = 1, 2, \dots, n$ ) カスベテ係数体  $\Lambda$  = フィル  $x_1, x_2, \dots, x_m, z_1, z_2, \dots, z_r$  既約多項式ナル  
トキ  $z_1, z_2, \dots, z_r$  = 通常 +  $\Lambda$  = フィル 値  $a_1, a_2, \dots, a_r$  フ共ヘテ

$$f_i(x_1, x_2, \dots, x_m; a_1, a_2, \dots, a_r)$$

カスベテ  $\Lambda$  = フィル 既約 + ル如クシ得ル。カスベテ  $a_i$  摂四方  
独立 = 無数 =  $\exists$   $i, j, k, l$

(コ) = 独立 = 無数 =  $\exists$   $i, j, k, l$

$$f_i(x_1, x_2, \dots, x_m; a_1, a_2, \dots, a_r)$$

ガスベテ既約ナルトキ  $a_1, a_2, \dots, a_v$  ノラチ(任意),  
 ル-1個ヲ度セズシテ底ル, 一個ヲ無数ニ値ヲ度セシメテ  
 $f_i$  が皆ニスベテ既約ナル如クシ得コトヲ意味ス)

(註)  $f_i$  ハスダテル, ノ含ミ、 $x$ , 1 最高幕1係数ガ  
 1 デ施1係數入

$$\Lambda[x_2, \dots, x_m; z_1, z_2, \dots, z_v]$$

= 届ストシテモ一般性ヲ失ハズコトハ容易ニワカル.  
 $m > 1$  ナル場合ハ  $x_2, \dots, x_m \not\in z_1, z_2, \dots, z_v$  ノラ  
 ノ含ムテ考ヘレバ  $m = 1$  ナル場合ニ帰着スルコトモスグワ  
 カル.

次ニ  $m = 1, v > 1$  ナル場合ハ  $m = 1, v = 1$  ナル場合  
 ノ含ニ帰着スル. 但トナレバ  $\Lambda(z_1, z_2, \dots, z_{v-1})$  ナル体  
 ハ  $f_i$  トオケベ  $f_i(x, z_1, z_2, \dots, z_v) \equiv F_i(x, z_v)$   
 ハ標數体  $f_i$  = 於テ既約ナルが  $f_i$ , 1代微的開拡大ニ  
 於テ  $\oplus(x, z_v)$  ナル既約因子ヲ有スルトスルト

$$F_i(x, z_v) = \prod_a \oplus^a(x, z_v)$$

但シ  $\oplus(x, z_v)$  1係数ラスベテ  $f_i$  = 添加シタ体ル  
 ,  $f_i$  上, Automorphism ノ示ストス. シカラベ  
 $z_i = a_i$  ( $i = 1, 2, \dots, v-1$ ) トシタトキ  
 $\overline{\oplus(x, z_v)}$  ガ  $\Lambda$  = 於テ既約デ  $\overline{\oplus^a(x, z_v)}$  スベテ異ル  
 如クシテ得ルカラ  $\overline{F_i(x, z_v)}$  ガ  $\Lambda$  = 於テ既約トナルカ  
 フデアレ。

$m = 1, v = 1$  ナル場合ノ証明ハ次ノ如クスル.

$f_i(x, z)$  がスベテ Galoissch ト假定シテモ一般性失ハズ。何トレバ  $f_i(x, z) = 0$  ヨツテ定義ルレル  $\Lambda(z)$  上の代数函数体ヲ含ム  $\Lambda(z)$  上の最小ガロア体ヲ定義スルガロア方程式ガ  $G_i(x, z) = 0$  デアルトスレバ  $f_i(x, z) = 0$  り根 B 、  $G_i(x, z) = 0$  り根 A = ヨツテ  $\Lambda(z)$  = 於テ linear = 表ハサレル。

$$B = \alpha_{1,0} + \alpha_{1,1} A + \alpha_{1,2} A^2 + \dots$$

$$B^2 = \alpha_{2,0} + \alpha_{2,1} A + \alpha_{2,2} A^2 + \dots$$

-----

$z = \Lambda$  1 個  $a$  の時  $\Rightarrow$  matrix  $(a_{ij})$  , Rang  
が既約ラス如ク且ツ  $G_i(x, a)$  既約 + ルマク = スレバ  
 $f_i(x, a)$   $\Lambda$  = 於テ既約 + ルカラ, (コノ際 Rela-  
tions strenge Spezialisierung + ルコト = 注意)。

サテ  $f_i(x, z)$  スベテ Galoissch トシ、 $\Lambda$  の代数的 = 拡大レテ  $f_i(x, z)$  が  $\varphi_i(x, z)$  + ル絶対既約因子ヲ有ストス。 $\varphi_i(x, z)$  = 於ケル係數ラスベテ  $\Lambda$  = 添加シタ体  $\Lambda'_i$  トスル。

$\Lambda'_i$   $\wedge \Lambda$  上の代数的拡大、 $\forall i$  任意 Automorphism  
 $\tau_i$   $\sigma_i$  ブ示セバ

$$f_i(x, z) = \prod_{\tau_i} \varphi_i^{\tau_i}(x, z)$$

$\varphi_i(x, z)$  ハ勿論 Galoissch デル。

$\varphi_i(x, z) = 0$   $x$  一根  $A_i \ni \Lambda'_i(z)$  = 添加

シテ体  $K_i$  トス。  $K_i \wedge A'_i(z)$  , 上, 「ガロア」体  $\mathbb{A}$ 。  
 ツイ「ガロア」群  $G_i$  トス。

$$g_{x_i}(x, z) = \prod_{S_i \in G_i} (x - A_i^{S_i})$$

$G_i$  , 任意 1 元  $T_i$  デ生ダル群  $\{T_i\}$  デ示ス。

$\{T_i\}$  = 對應スル  $K_i$  1 部分体  $K_i^{(T_i)}$  トスル。

$T_i$  , Ordnung  $\lambda_i$  トスルトキ

$$g_i^{(T_i)}(x, z) = \prod_{r=0}^{\lambda_i-1} (x - A_i^{T_i^r})$$

トオケバ, コレハ  $K_i^{(T_i)}$  = 箔スル標數ア有スル凡, 既約多項式ダアル。

サヲルベテノ  $A'_i$  ( $i = 1, 2, \dots, n$ ) / 合成体  $\Lambda$ 。

トムルトキ,  $\Lambda =$  開スル相對次級  $I + \mathbb{L}\Lambda_0$  = 於ケル *Paximideal* 標數ニ多クアルガ, ツイウチテ Lemma  
 = ゾリ  $\overline{g_i(x, z)}$  直ク  $\Lambda_0$  = 於テ絶対既約トナル如キ子標數ニ多クアル。且ツ  $\overline{g_i^{(T_i)}(x, z)}$  スベテ  $\overline{K_i^{(T_i)}}$  = 於テ既約 + ラシメ得ル。

(ツレニハ  $\overline{K_i^{(T_i)}}$  が体トナル如ク標ベバイ )

サヲコノ際  $i$ ,  $T_i$  対ルトキ  $\mathfrak{P}_{T_i}$  実ル如ク標ヒ  
 $g_i^{(T_i)}(x, z) \wedge \text{mod } \mathfrak{P}_{T_i} \overline{K_i^{(T_i)}}$  , 上 = 於テ既約トス。

$\overline{g_i^{(T_i)}(x, z)} = 0$  , 根  $\overline{A_i} \wedge \overline{K_i^{(T_i)}}$  , 上 ,

cyclic 体  $\overline{K_i}$  = 生ゼシムルカニ, 類體論 = 於ケル定理 = ゾリ  $\overline{K_i^{(T_i)}}$  = 於ケル一次, 素因子ニシテ  $\overline{K_i}$  ≠ 素因子

マントルモノ無数ニ多クアル。カル素因子 $\mathcal{Z}$ 、分子  
及 $\overline{\varphi_i(x, z)}$ 判別式=素+ルモノ $\neq \overline{\varphi_i^{(T_i)}} +$ スル。  
シカラベ $\overline{\varphi_i^{(T_i)}(x, z)} \wedge \text{mod } \overline{\mathcal{R}_{iz}^{(T_i)}} =$ ツイテ $\overline{K_i^{(T_i)}}$   
上デ既約トアル。 $(\overline{\mathcal{R}_{iz}^{(T_i)}} \wedge \overline{\mathcal{R}_i^{(T_i)}})$ =對應スル Ideal  
アル。

$\overline{\mathcal{R}_i^{(T_i)}} \wedge Z - \overline{a_i^{(T_i)}}$  ( $a_i^{(T_i)} \in \overline{A_i}$ ) 分子=  
合マレルトスルト、スペティ $i$ 及 $T_i$ ニツイテ $a \equiv a_i^{(T_i)}$   
 $\text{mod } \overline{P_{T_i}}$  トナル如キ $\wedge$ 元 $a$ が無数=存在スル。カ  
クノ如ク $a$ ヲ模ベバ $\varphi_i(x, a)$ スペテ $\Lambda'_i =$ 於テ既約ナル  
コトが証セラレル。

モシ $\varphi_i(x, a)$ 何レカーツ可約ナラバ $\varphi_i(x, z)$   
ノ約数 $\alpha - A_i$ ヲ含ム $\varphi_i^*(x, z)$ が $Z = a$ トシ  
タキ $\varphi_i^*(x, a)$ が $\Lambda'_i =$ 於ケル式トアル。

$$\varphi_i^*(x, z) = \prod'_{S_i} (x - A_i^{S_i})$$

$S_i = S_i \cap G_i$ 、一部 $C_i$ を durchlaufen スル。

$C_i$  属セ $G_i$  1元ノーツ $T_i$ ヲトレバ $P_{T_i} =$ ツイテ  
Res.bildung = ヨツテ $\overline{\varphi_i^{(T_i)}(x, z)}$   $\wedge \text{mod}$   
 $\overline{\mathcal{R}_{iz}^{(T_i)}} =$ ツイテ $\overline{K_i^{(T_i)}}$  上デ既約デアル。シカラニ  
 $\varphi_i^*(x, z) \wedge \text{mod}(Z - a) \Lambda'_i$  上、式デアルカラ  
 $\overline{\varphi_i^*(x, z)} \wedge \text{mod } \overline{\mathcal{R}_{iz}^{(T_i)}} \cdot \overline{K_i^{(T_i)}}$  上、式デアル。

$\overline{\varphi_i^*(x, z)} \wedge \overline{\varphi_i^{(T_i)}(x, z)} + x - \overline{A_i}$  + ル共通因  
子ヲ有スルカラ $\overline{\varphi_i^*(x, z)} \wedge \text{mod } \overline{\mathcal{R}_{iz}^{(T_i)}} =$ ツイテ

$\overline{\varphi_i^{(T_i)}(x, z)}$  デ割レルコトニアルガ  $R_{iz}^{(T_i)}$  ハ  $\overline{A_i}$   
1判別式ニ素デアルカラ

$$\overline{A_i^{(T_i)}} \equiv \overline{A_i^{(S_i)}} \mod \overline{\varphi_{iz}^{(T_i)}}$$

$$S_i \subset C_i$$

トナルコトハナク、不倫理トナル。カクシテ  $\varphi_i(x, a)$  ハスベテ  $A_i^{(T_i)}$  = 於テ既約デカル  $a$  ハ無数ニ多クアルガ、  
 $\varphi_i^{(T_i)}(x, z)$  ハ  $i$  が同一ナルトキ  $O_i$  が異レバ異ナル或  
デアルカラ、有限個  $/a$  除キ  $\varphi_i^{(T_i)}(x, a)$  ハ  $i$  が同じ  
ナルトキ  $O_i$  が異レバスベテ異ル。ソコテカク  $a$  機ベバ  
 $f_i(x, a)$  ,  $\lambda =$  於ケル既約因子ハ  $\prod_{O_i} \varphi_i^{(T_i)}(x, a)$  デ  
割レネバナラスカラ、 $f_i(x, a)$  ハ  $\lambda =$  於テ既約デア  
ル。

(証終)

[附記]  $m=1, v>1$  + ル場合ガ  $m=1, v=1$  ナル場  
合ニシテスル証明=於テ  $S$  テ生ズル元、 $t_1, 1$  上1方程式  
 $S(n; z_1, z_2, \dots, z_{v-1}) = 0$  テシタキ  $z_i = a_i$  ト  
シテ  $S(u; a_1, a_2, \dots, a_{v-1})$  が  $\lambda =$  於テ既約ナル如ク  
セホバナラスコトヲ言ニ落シタ。